

2018-22-2

# 牛 肺

山本彩加

- 提出機関； University of Glasgow (スコットランド)
- 症例； 7カ月齢、雌、リムーザン交雑種牛
- 病歴； 呼吸器症状がみられた後回復しない



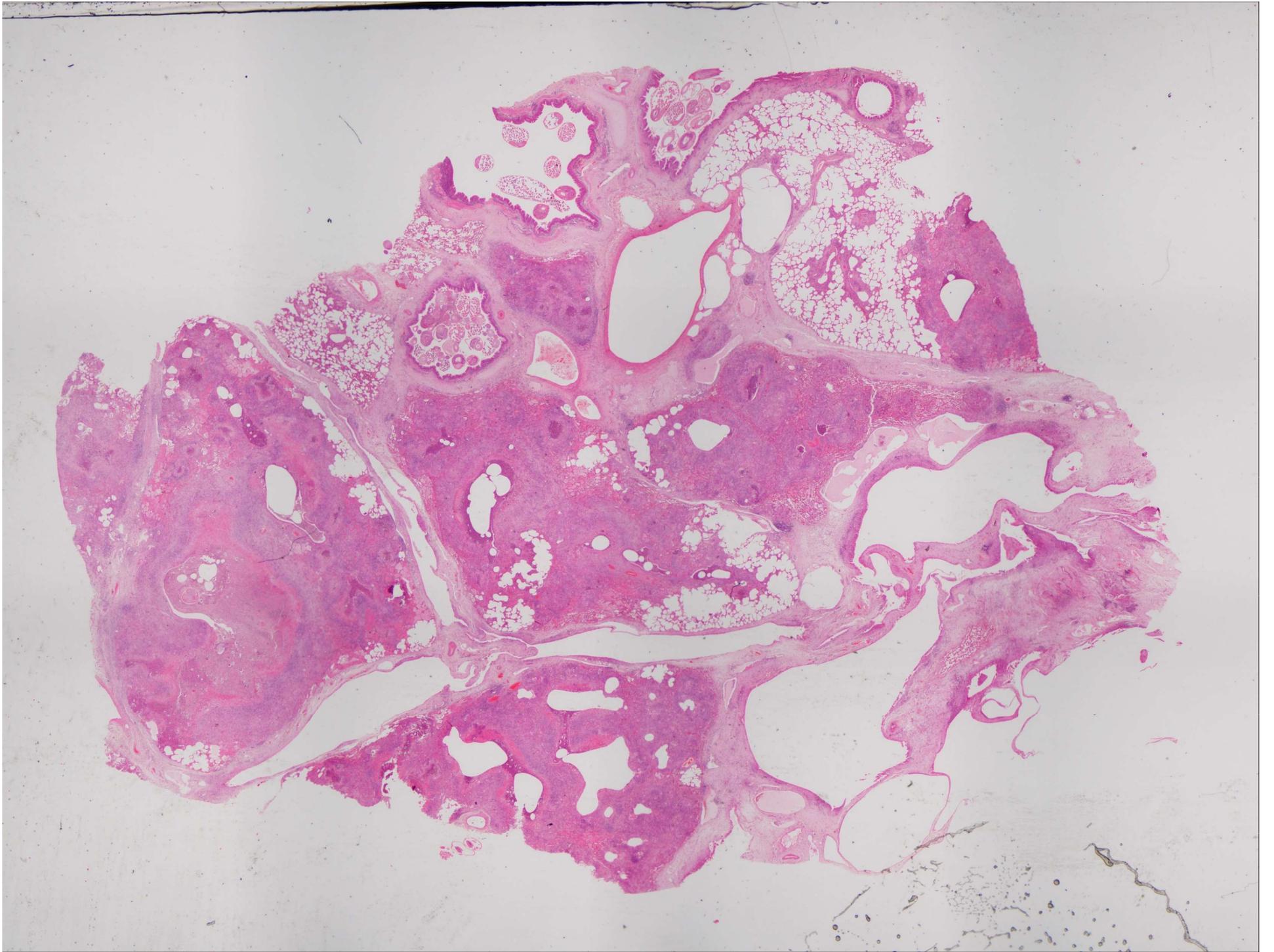
超音波検査で肺に顕著な高エコー領域を確認



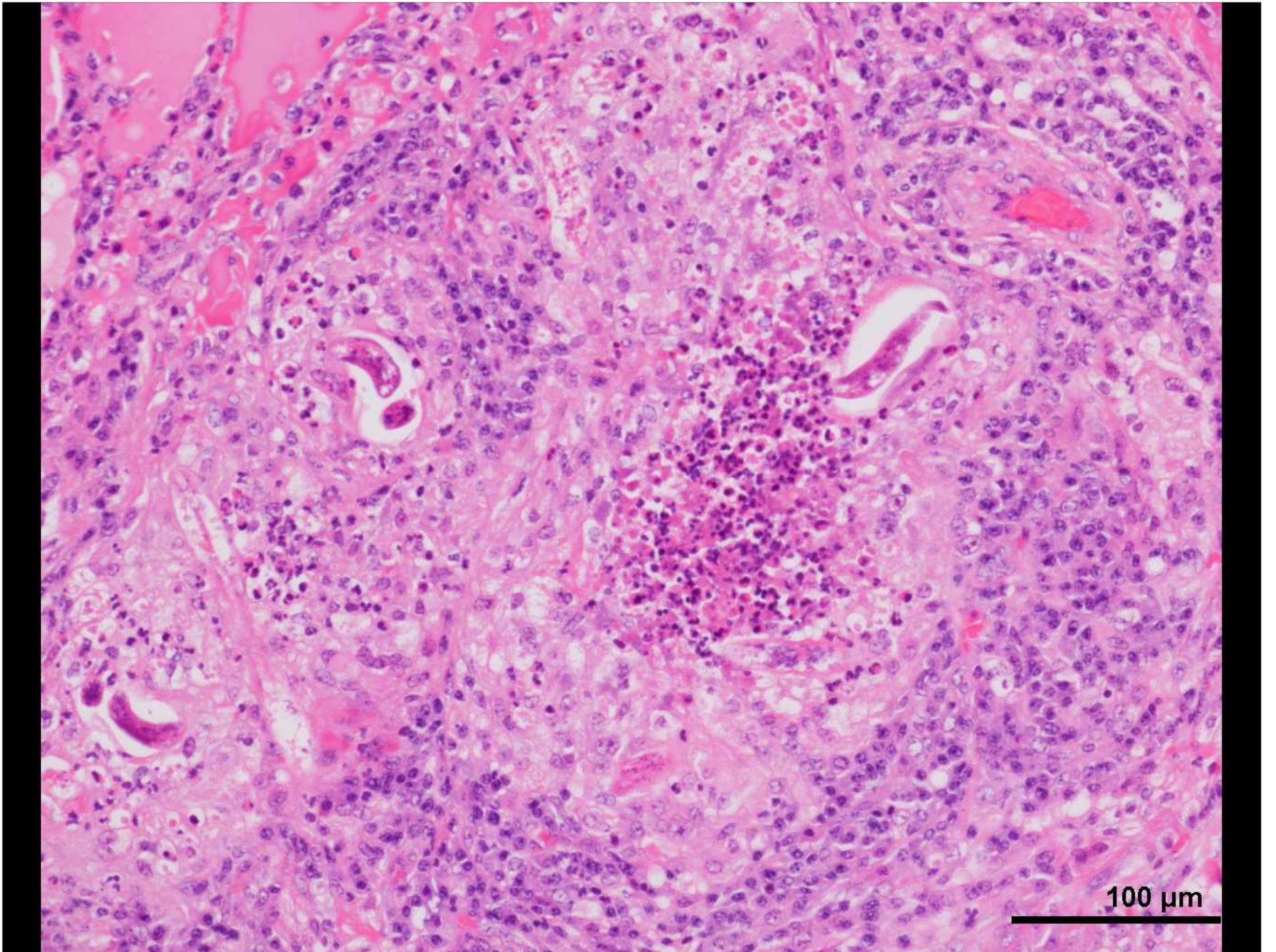
安楽殺のち検査実施











## 提出者の診断

肺：気管支肺炎、好酸球性および化膿性肉芽腫性、多発性から癒合性、慢性、重度、多発性の細気管支上皮過形成および扁平上皮化生、毛様線虫上科の成虫および幼虫を伴う

Lung: bronchopneumonia, eosinophilic and pyogranulomatous multifocal to coalescing, chronic, severe, with multifocal bronchiolar epithelial hyperplasia and squamous metaplasia, and adult and larval trichostrongyles.

病因：牛肺虫: *Dictyocaulus viviparus*

## JPCの診断

肺：気管支肺炎、化膿性肉芽腫性および好酸球性、慢性、びまん性、重度肺胞および小葉間の水腫および気腫と変円虫上科線虫の成虫および幼虫を伴う

Lung: Bronchopneumonia, pyogranulomatous and eosinophilic, chronic, diffuse, severe, with alveolar and interlobular edema and emphysema and adult and larval metastrongyle nematodes.

## 提出者・JPCのコメント

### 牛肺虫

- 主に放牧牛の寄生虫性気管支肺炎を引き起こす線虫

牛回虫および豚回虫の幼虫は一時的な肺炎を引き起こすが、**線虫の成虫が牛の肺(気管・気管支)に寄生するのは牛肺虫のみ**

- 異物を吐き出すような『husk』と呼ばれる深い発咳
- 気管支に寄生していることが多いため、気管支を切開して虫体の存在を調べる必要がある
- 肺の両側の腹側に赤色化病変
- 初放牧子牛では重篤化し時に死亡  
↓
- 成虫は90日前後で宿主から排泄  
↓
- 感染耐過牛は免疫を獲得し症状は軽度・不顕性



臨床診断牛病カラーアトラスp80